

# 令和元年度下半期指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,669,185円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

## ●利用状況

		R01下半期	R01上半期	H30下半期	H30上半期	H29下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	5,264	10,225	8,385	9,443	8,574
	移動児童館利用者数	606	288	485	246	360
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	19	※12(7)	15(11)	13(11)	14
	開館日数(単位:日)	109	155	151	151	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①⑤計画どおり実施 ②所長(常勤)、常勤職員2人(児童厚生員は所長を含め3人) ③児童センター便りを毎月発行し、担当エリアの小学校に配布。乳幼児用の便りを毎月と学期ごとの2種類発行。 館内に行事の案内板を作り掲示、児童センターと法人のホームページに掲載。移動児童館等の際に、便りを配布。 ④利用者アンケートの意見については、マニュアルに従い対応。アンケート結果は館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①④適切に実施。 ②就労継続支援B型事業所による清掃を週2回実施。それ以外は職員が清掃を実施。おもちゃ等の消毒も定期的実施。 ③使用していない部屋の照明やエアコンの節電、エアコンの適正温度での使用を実施。節水の実施。リサイクルの活用。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修繕。施設内の簡単な部品交換で修理可能な修繕は職員が実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	大規模な修理については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。近隣に被害を及ぼすもの、利用者に影響があるものについては、すぐに対応。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①②③マニュアルに沿って適切に実施。 ②消防訓練を実施

●利用者評価

利用者アンケートの 実施状況	3月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の伴う臨時休館のため実施せず。
利用者アンケートの 実施結果	3月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の伴う臨時休館のため実施せず。
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	アンケート未実施のため無し。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	B	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価				
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人的能力、人的能力を有していること	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>□乳幼児親子対象事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不定期に実施しているお父さんも参加できる「ぶどうひろば」を2回実施した。当日、館内にいるお父さん・おじいちゃん・おばあちゃん、加えて小学生も巻き込んで、手遊びやパネルシアターの実演を行い、大勢の参加があった。</li> <li>・例年は2学期に実施している乳幼児親子さん対象の「ちびっこあきまつり」だが、工事中だったため、利用者の安全面を考慮し、3学期に変更した。母親クラブの役員の方がスタッフとなり、約50組の参加があり、喜んで頂けた。</li> <li>・毎年恒例になっている、幼児クラブでの「クリスマス会」と「節分」の際に、サンタクロースと鬼の役を地域の方に依頼し、大変盛り上がった。</li> </ul> <p>□地域とのつながりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期から引き続いて、隣接の障がい者施設の方と交流が2回できた。2月には、節分にちなんで小学生が鬼になり、豆まきをしたり、職員によるパネルシアターを観ていただいたりした。</li> <li>・3週間の休館期間があったので、利用者の方に迷惑をかけないように、自治会や小学校に情報の周知徹底を図った。</li> <li>・校区のおまつりに、母親クラブに属しているサークルの乳幼児親子が舞台発表をした。</li> </ul> <p>□移動児童館について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休館期間中に、明郷小・徹明さくら小の放課後子ども教室・まなびの部屋の移動児童館を実施できた。</li> <li>・障がい者施設から依頼があり、おひな様の簡単工作の移動児童館を実施した。</li> </ul>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□岐阜市社会福祉事業団や、本郷児童センターのホームページを見て、乳幼児のお母さん方が書く行事に参加をして下さるようなので、ホームページの定期的な更新はもちろん、休館などの突発的な事項が発生した場合も、速やかにわかりやすく伝えるように努めた。</p> <p>□岐阜市社会福祉事業団内の研修会に職員が出席し、得たノウハウや情報を職員間で共有し、職員のスキルアップを図った。</p> <p>□障がい者施設との交流が下半期に3回できた。その他に、利用者さんが帰宅する際に当館に立ち寄って話をしていくこともあり、良い関係が築けている。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している、登録制クラブ2つ、自由参加のクラブ2つに加えて、不定期に開催する「ぶどうひろば」も、できるだけ多く実施をし、乳幼児対象の事業を充実させる。</li> <li>・消防士さん・保健師さんや各専門の講師さんに協力して頂きながら、利用者の皆さんの希望に応えられるように努める。</li> </ul> <p>□地域組織活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動児童館を通して、各校区の親子ふれあい教室や自主運営のサークルの活動を支援していく。</li> <li>・今年度より、隣接の障がい者施設との交流が何度か実施できたので、今後も継続していく。</li> </ul> <p>□児童健全育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の利用が減少傾向にあるので、魅力のある行事を検討していく。</li> <li>・市外在住の児童であるが、家庭の事情で土日に必ず来館する子がいる。そのような家庭の子にとって「居場所」になり家の方にも安心していただけるように努める。</li> </ul>

●所管課の意見

<p>○児童センターの「おたより」を、担当地区の各小学校の全児童に毎月配布したほか、移動児童館での配布や、母体法人や自館のホームページへの掲載を行ったうえ、保健センターにもチラシを設置するなど、児童センターの情報の提供に努めた。</p> <p>○父親も参加できる「ぶどうひろば」や育児相談の開催を継続して実施したほか、事前申し込みが必要な事業と当日参加可能な事業を均等に開催することで、利用者の利便性向上に努めた。</p> <p>○障がい者施設と連携を図り、豆まき等で小学生と障がい者のふれあいの時間をつくって交流に努めた。</p> <p>○移動児童館について、年間31回開催し、年間目標数値の24回(平均月2回)を達成されている。</p> <p>○障がい者施設との交流をすることで、双方にいい影響を与えていることから継続して実施されたい。</p> <p>○他の公共施設で事故等の事例がある中、安全安心な施設運営を心掛け、事故等が発生しなかったことは評価したい。</p> <p>○職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
---

●指定管理者評価委員会の意見

<p>不定期に行った「ぶどうひろば」は好評だったようなので、定期的な開催も検討してほしい。</p> <p>障がいのある方々とのつながりも継続しており、今後も期待したい。</p> <p>修繕等の都合もあり、11月の半月が休館となったため利用者減となっているが、今後も利用者促進に努めてほしい。</p> <p>今後は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で、行動指針やマニュアルに従いつつ、「児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的」とする児童館として利用者の安心・安全を考慮した運営を願いたい。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
---